



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月11日

上場会社名 株式会社 NEW ART HOLDINGS
 コード番号 7638 URL <http://www.newart-ir.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 白石 幸生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松橋 英一

TEL 03-3567-8098

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日

配当支払開始予定日

2020年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	18,620	5.9	3,331	31.8	3,272	37.1	1,529	66.9
2019年3月期	17,585	22.8	2,526	210.2	2,388	229.3	916	872.8

(注) 包括利益 2020年3月期 1,490百万円 (62.5%) 2019年3月期 917百万円 (758.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	95.88		19.4	20.1	17.9
2019年3月期	56.23		13.0	16.4	14.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

当社は、2019年10月1日を効力発生日として普通株式20株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	17,332	8,288	47.8	525.91
2019年3月期	15,290	7,474	48.9	458.61

(参考) 自己資本 2020年3月期 8,288百万円 2019年3月期 7,474百万円

当社は、2019年10月1日を効力発生日として普通株式20株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,738	1,372	355	2,931
2019年3月期	1,649	253	684	2,002

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		1.00	1.00	325	35.6	4.6
2020年3月期		0.00		30.00	30.00	472	31.3	10.9
2021年3月期(予想)		0.00		50.00	50.00			

2021年3月期の配当予想には株式公開20周年記念配当20円を含みます。詳細は、2020年2月26日公表の「株式公開20周年記念配当を含む次期配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

当社は、2019年10月1日を効力発生日として普通株式20株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。2020年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合後の金額を記載しております。なお、株式併合を考慮しない場合の2020年3月期の1株当たり期末配当金は1円50銭となります。詳細は、2019年5月7日公表の「株式併合および定款の一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期や消費者マインドの回復が不透明であり、現段階で合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の算定が合理的に可能となった段階で、速やかに公表いたします。

なお、詳細につきましては、[添付資料] P4.「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	16,626,375 株	2019年3月期	16,626,375 株
期末自己株式数	2020年3月期	866,160 株	2019年3月期	329,099 株
期中平均株式数	2020年3月期	15,950,519 株	2019年3月期	16,297,295 株

当社は、2019年10月1日を効力発生日として普通株式20株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては[添付資料] P4.「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	20
(重要な後発事象)	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2019年4月1日～2020年3月31日)におけるわが国経済は、国際情勢の不安定化等による世界経済の減速を反映して力強さを欠きましたが、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、2019年末に発生した新型コロナウイルス感染症が内外経済に与える影響は深刻の度を増し、景気の先行きは年初から一変し依然として不透明な状態が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループは、更なる事業の成長及び企業価値の最大化に向けて、中期経営計画に基づき、国内既存事業の拡大、海外展開の推進、新商品や新サービスの開発育成など、成長戦略としての施策を着実に実行してまいりました。

また、2020年3月には、株式公開から20周年を迎えることができました。これもひとえに株主様をはじめとする皆さまのご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度における当社グループの業績は、売上面では、主力のプライダルジュエリー事業が引き続き好調に推移したこと、加えて、ヘルス&ビューティー事業が収益体質を構築し増収増益を達成したこと、海外店舗における売上が着実に伸長したこと等を要因として、売上高は186億20百万円(前期比5.9%増)、営業利益は33億31百万円(前期比31.8%増)、経常利益は32億72百万円(前期比37.1%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、海外子会社の固定資産に係る減損処理の実施等により特別損失4億7百万円を計上し、15億29百万円(前期比66.9%増)となりました。

以上のように、当連結会計年度につきましても前期比で大幅な増収増益となり、売上面、利益面とも過去最高の実績を計上することができました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第3四半期連結会計期間より、「全身美容事業」及び「アート事業」の報告セグメントの名称を、「ヘルス&ビューティー事業」及び「フィンテック事業」に変更しております。これは、当社グループが行う事業をより明確に表現するためによるものであります。

また、従来「その他事業」に含めていた一部の事業について、事業化の見込みがたったことにより管理所轄の見直しを行い、報告セグメントの区分を「フィンテック事業」に変更しております。以下の前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

① プライダルジュエリー事業

当連結会計年度におけるプライダルジュエリー事業の売上高は152億2百万円(前期比21.2%増)、セグメント利益は40億32百万円(前期比39.0%増)となり、いずれも過去最高の実績を計上することができました。これは、当社が長年に亘り取組みを続け進化させてきた「受注-製造-販売」のビジネスモデルが成熟し当社の強みとして定着した成果であると考えております。

具体的な施策として、国内においては、WEBおよびテレビCMによる広告の強化、映画やドラマへの積極的な協力、各種イベントやフェアの開催等の、ブランド価値向上のための施策が奏功し、来店客数が増加基調で推移したことに加え、店舗における対応品質の向上により成約率も好調に推移しました。2019年10月の消費増税による影響が懸念されたなか、お客さまの高いご支持をいただきつつ成長軌道を維持できたことは、店舗施策、人材育成等の取組及び前述した諸施策の成果と考えております。また、海外におきましても既存店舗の売上が着実に伸長しており、広範なエリア展開を視野に、更なる店舗拡大に向け取組を継続しております。

新規の店舗展開につきましては、2020年3月に「銀座ダイヤモンドシライシ」富山店を全面改装し、「銀座ダイヤモンドシライシ」「エクセルコ ダイヤモンド」統合店といたしました。2020年4月末における「銀座ダイヤモンドシライシ」の国内店舗は45店舗、海外店舗は7店舗、「エクセルコ ダイヤモンド」の国内店舗は33店舗、海外店舗は1店舗となりました。

② ヘルス&ビューティー事業

当連結会計年度におけるヘルス&ビューティー事業の売上高は29億5百万円(前期比4.7%増)、セグメント利益は1億34百万円(前期比80.6%増)となりました。

ヘルス&ビューティー事業につきましては、売上の拡大とともに収益体質の確立に向け、WEBマーケティングの強化、来店誘致戦略の見直し、顧客層の見直し、既存顧客へのアプローチ強化、化粧品事業の強化等の施策を継続的に実施し、その成果として前期比大幅増益を計上することができました。2020年4月末における国内店舗は25店舗、海外店舗は2店舗であります。

③ フィンテック事業

当連結会計年度におけるフィンテック事業の売上高は3億67百万円(前期比80.4%減)、セグメント損失は52百万円(前期はセグメント利益57百万円)となりました。

フィンテック事業につきましては、株式会社ニューアート・フィンテックにおいて、アートと金融を組み合わせた新規事業として、2019年10月香港の連結会社であるASIA Contemporary Art Investment Fund Ltd.において、第一号のアートファンドを組成いたしました。セグメント業績としては、新型コロナウイルス感染の影響によりアート市場が機能停止の状況となったことから、やむなく損失計上となりました。

なお、財務戦略の観点から、2020年3月に、株式会社ニューアート・フィンテックは、ASIA Contemporary Art Investment Fund Ltd.への投資を回収し、ASIA Contemporary Art Investment Fund Ltd.は第4四半期連結会計期間より連結子会社でなくなりました。

④ その他事業

当連結会計年度におけるその他事業の売上高は1億76百万円（前期比57.1%減）、セグメント損失は53百万円（前期はセグメント利益50百万円）となりました。

その他事業につきましては、スポーツ関連事業の株式会社ニューアート・スポーツにおいて、ゴルフの一流シャフトブランドである「CRAZY」の展開を軸として、ゴルフのみならずスポーツ全般への事業拡大を視野に取組を進めております。

注) セグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しています。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末比16億64百万円増加（前連結会計年度末比14.6%増）し、130億44百万円となりました。これは、商品及び製品の増加17億8百万円並びに現金及び預金の増加9億29百万円がありました一方で、受取手形及び売掛金の減少12億44百万円などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比3億77百万円増加（同9.6%増）し、42億88百万円となりました。これは、土地の増加4億円及び長期貸付金の増加3億52百万円がありました一方で、有形固定資産に係る減損損失累計額の増加3億83百万円などによる有形固定資産の減少などによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末比20億41百万円増加（同13.4%増）し、173億32百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末比10億93百万円増加（前連結会計年度末比15.7%増）し、80億38百万円となりました。これは、短期借入金の増加11億95百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末比1億34百万円増加（同15.4%増）し、10億5百万円となりました。これは、長期借入金の増加1億46百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比12億27百万円増加（同15.7%増）し、90億44百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末比8億14百万円増加（前連結会計年度末比10.9%増）し、82億88百万円となりました。これは、剰余金の配当3億25百万円及び自己株式の増加4億27百万円がありました一方で、親会社株主に帰属する当期純利益15億29百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は47.8%（前連結会計年度末は48.9%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末に比べ、9億29百万円増加し、29億31百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、17億38百万円（前年同期比88百万円増）となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益28億64百万円及び売上債権の減少12億43百万円による資金の増加に対して、たな卸資産の増加24億56百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、13億72百万円（前年同期比11億19百万円増）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出6億30百万円並びに短期及び長期貸付けによる支出6億30百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、3億55百万円（前年同期は6億84百万円の支出）となりました。これは主として、短期及び長期借入れによる収入37億46百万円に対して、短期及び長期借入金返済による支出26億20百万円、自己株式の取得による支出4億28百万円及び配当金の支払額3億23百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2019年末に発生した新型コロナウイルス感染症の影響は深刻の度を増しており、経済活動が長期間に亘って停滞するリスクもあり、当面は厳しい状況が継続するものと思われまます。

このような状況のもと、当社グループは、引き続きグループの成長戦略を具体化するための施策を着実に実行してまいります。

なかでも新商品・新サービスの研究開発は、これまで常に新しい商品やビジネスモデルを創出することにより成長発展を遂げてきた当社グループにおいて成長戦略の核となるものであり、グループとして今後一層の取組強化を行います。具体的には、これまで各事業会社において個々で行っていた新商品・新サービスの研究開発業務を、新たに設立した子会社「株式会社NEW ARTブランド開発研究所」において、グループ横断的かつ専門的に担うこととし、新たなブランド価値創造を推進します。

海外事業につきましては、引き続き積極的に展開していく方針であります。台湾を中心に既存店舗の業績伸長と拠点拡大に注力しつつ、シンガポールを初めとした新たな地域への展開も進めてまいります。

ブライダルジュエリー事業につきましては、国内における一層のブランド価値向上に向け、店舗施設の充実、拠点の拡大、応対力の向上に引き続き注力してまいります。

ヘルス&ビューティー事業につきましては、利益体質の一層の強化と、店舗施設の充実、化粧品や栄養食品等の物販事業強化等、売上増加に向けた施策を進めてまいります。

フィンテック事業につきましては、アートファンド関連事業の展開に加え、ヘルス&ビューティー事業売上に係る自社クレジット事業を本格始動させるべく準備中であります。

スポーツ関連事業につきましても、既存事業に加えて、新たな事業立ち上げに向け準備中であります。

なお、2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期や消費者マインドの回復が不透明であり、現段階で合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の算定が合理的に可能となった段階で、速やかに公表いたします。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは、以下のとおりであります。

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	54.8	52.5	48.0	48.9	47.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	114.2	72.5	65.9	59.7	52.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	130.7	—	—	248.5	300.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	96.2	—	—	45.7	42.5

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注4) 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

(注5) 2017年3月期及び2018年3月期におけるキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオの指標につきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,002,017	2,931,810
受取手形及び売掛金	2,447,329	1,202,573
商品及び製品	6,596,204	8,305,177
仕掛品	75,750	76,036
原材料及び貯蔵品	152,734	259,580
前払費用	124,903	138,380
その他	212,494	372,288
貸倒引当金	△232,172	△241,805
流動資産合計	11,379,263	13,044,043
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,479,375	2,515,562
減価償却累計額	△1,063,578	△1,157,188
減損損失累計額	△406,410	△769,921
建物及び構築物 (純額)	1,009,385	588,451
機械装置及び運搬具	33,688	26,454
減価償却累計額	△21,401	△17,485
機械装置及び運搬具 (純額)	12,287	8,969
工具、器具及び備品	1,989,378	2,074,913
減価償却累計額	△715,960	△800,345
減損損失累計額	△502,356	△522,694
工具、器具及び備品 (純額)	771,061	751,873
土地	—	400,880
リース資産	148,220	189,227
減価償却累計額	△27,983	△50,067
リース資産 (純額)	120,237	139,160
建設仮勘定	940	7,350
有形固定資産合計	1,913,911	1,896,685
無形固定資産		
のれん	347,951	302,708
その他	68,568	58,421
無形固定資産合計	416,519	361,130
投資その他の資産		
長期貸付金	347,740	699,740
繰延税金資産	196,144	191,554
敷金及び保証金	1,095,984	1,168,844
その他	465,002	564,509
貸倒引当金	△524,021	△594,010
投資その他の資産合計	1,580,849	2,030,639
固定資産合計	3,911,280	4,288,454
資産合計	15,290,544	17,332,497

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	320,002	260,416
短期借入金	2,626,800	3,822,000
1年内返済予定の長期借入金	790,868	574,624
リース債務	30,643	43,390
未払金及び未払費用	719,803	727,225
未払法人税等	783,466	863,918
前受金	1,407,764	1,469,344
その他	266,368	277,844
流動負債合計	6,945,716	8,038,764
固定負債		
長期借入金	313,214	459,823
リース債務	88,650	107,240
退職給付に係る負債	207,397	213,387
その他	261,551	224,857
固定負債合計	870,814	1,005,308
負債合計	7,816,531	9,044,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,617,252	2,617,252
資本剰余金	2,376,153	2,376,192
利益剰余金	2,672,615	3,927,100
自己株式	△202,117	△630,022
株主資本合計	7,463,903	8,290,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△79
為替換算調整勘定	10,109	△2,019
その他の包括利益累計額合計	10,109	△2,098
純資産合計	7,474,012	8,288,424
負債純資産合計	15,290,544	17,332,497

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	17,585,301	18,620,697
売上原価	6,875,015	6,171,851
売上総利益	10,710,285	12,448,845
販売費及び一般管理費	8,183,615	9,117,549
営業利益	2,526,670	3,331,296
営業外収益		
受取利息及び配当金	495	5,832
為替差益	—	7,830
保険解約返戻金	—	11,661
その他	2,816	2,991
営業外収益合計	3,312	28,315
営業外費用		
支払利息	36,337	78,341
為替差損	32,022	—
貸倒引当金繰入額	72,042	5,448
その他	1,447	2,828
営業外費用合計	141,849	86,617
経常利益	2,388,132	3,272,994
特別利益		
固定資産売却益	—	1,358
子会社株式売却益	136,419	—
特別利益合計	136,419	1,358
特別損失		
減損損失	278,554	407,655
子会社株式評価損	48,095	—
貸倒引当金繰入額	372,921	—
その他	8,553	1,820
特別損失合計	708,125	409,475
税金等調整前当期純利益	1,816,426	2,864,876
法人税、住民税及び事業税	1,037,663	1,357,671
法人税等調整額	△137,678	4,589
法人税等合計	899,984	1,362,260
当期純利益	916,442	1,502,615
非支配株主に帰属する当期純利益	—	△26,782
親会社株主に帰属する当期純利益	916,442	1,529,398

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	916,442	1,502,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△79
為替換算調整勘定	830	△12,128
その他の包括利益合計	830	△12,207
包括利益	917,272	1,490,408
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	917,272	1,517,190
非支配株主に係る包括利益	—	△26,782

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,617,252	2,376,153	1,853,954	△202,098	6,645,262
当期変動額					
剰余金の配当			△97,781		△97,781
親会社株主に帰属する当期純利益			916,442		916,442
自己株式の処分		△0		1	1
自己株式の取得				△21	△21
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△0	818,661	△19	818,641
当期末残高	2,617,252	2,376,153	2,672,615	△202,117	7,463,903

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	9,278	9,278	100	6,654,641
当期変動額				
剰余金の配当				△97,781
親会社株主に帰属する当期純利益				916,442
自己株式の処分				1
自己株式の取得				△21
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	830	830	△100	730
当期変動額合計	830	830	△100	819,371
当期末残高	10,109	10,109	—	7,474,012

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,617,252	2,376,153	2,672,615	△202,117	7,463,903
当期変動額					
剰余金の配当			△325,945		△325,945
親会社株主に帰属する当期純利益			1,529,398		1,529,398
連結範囲の変動			51,032		51,032
自己株式の処分		39		168	208
自己株式の取得				△428,073	△428,073
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	39	1,254,484	△427,904	826,619
当期末残高	2,617,252	2,376,192	3,927,100	△630,022	8,290,523

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	-	10,109	10,109	7,474,012
当期変動額				
剰余金の配当				△325,945
親会社株主に帰属する当期純利益				1,529,398
連結範囲の変動				51,032
自己株式の処分				208
自己株式の取得				△428,073
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△79	△12,128	△12,207	△12,207
当期変動額合計	△79	△12,128	△12,207	814,412
当期末残高	△79	△2,019	△2,098	8,288,424

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,816,426	2,864,876
減価償却費	246,547	246,959
減損損失	278,554	407,655
のれん償却額	28,943	28,943
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	454,578	79,622
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21,491	5,989
受取利息及び受取配当金	△495	△5,832
支払利息	36,337	78,341
為替差損益 (△は益)	621	△9,034
保険解約返戻金	—	△11,661
固定資産売却益	—	△1,358
固定資産除却損	8,553	1,820
子会社株式売却益	△136,419	—
子会社株式評価損	48,095	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△939,951	1,243,262
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△83,316	△2,456,998
仕入債務の増減額 (△は減少)	90,002	290,958
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△5,741	11,189
前受金の増減額 (△は減少)	520,657	61,445
未払又は未収消費税等の増減額	91,136	77,509
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△147,254	27,134
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	6,548	97,051
その他	△21,001	23,987
小計	2,314,314	3,061,861
利息及び配当金の受取額	495	5,832
利息の支払額	△36,135	△40,900
法人税等の還付額	42,034	1,683
法人税等の支払額	△670,991	△1,290,404
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,649,717	1,738,072
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40,000	—
定期預金の払戻による収入	40,000	—
有形固定資産の取得による支出	△161,251	△630,992
有形固定資産の売却による収入	—	39,030
無形固定資産の取得による支出	△12,159	△8,243
保険積立金の解約による収入	—	37,719
敷金及び保証金の差入による支出	△54,722	△100,780
敷金及び保証金の回収による収入	41,396	36,668
短期貸付けによる支出	—	△200,000
長期貸付けによる支出	—	△430,000
長期貸付金の回収による収入	10,800	15,600
関係会社株式の取得による支出	—	△91,878
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 支出	△14,643	—
その他	△62,529	△39,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△253,109	△1,372,150

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,198,000	2,896,000
短期借入金の返済による支出	△1,399,999	△1,700,800
長期借入れによる収入	300,000	850,000
長期借入金の返済による支出	△661,760	△919,635
セール・アンド・リースバックによる収入	—	12,668
リース債務の返済による支出	△24,824	△31,320
自己株式の処分による収入	1	208
自己株式の取得による支出	△21	△428,073
配当金の支払額	△96,366	△323,059
財務活動によるキャッシュ・フロー	△684,970	355,987
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,903	481
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	719,541	722,390
現金及び現金同等物の期首残高	1,282,476	2,002,017
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	221,019
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△13,616
現金及び現金同等物の期末残高	2,002,017	2,931,810

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは国内外のブライダルジュエリー事業、ヘルス&ビューティー事業及びフィンテック事業を主な事業内容としており、関連する事業を法人化して、グループ運営を行っております。

したがって、当社グループはサービス内容・経済的特徴を考慮したうえで事業セグメントを集約し「ブライダルジュエリー事業」、「ヘルス&ビューティー事業」及び「フィンテック事業」を報告セグメントとしております。

なお、当連結会計年度より、「全身美容事業」及び「アート事業」の報告セグメントの名称を、「ヘルス&ビューティー事業」及び「フィンテック事業」に変更しております。これは、当社グループが行う事業をより明確に表現するためによるものであります。

また、従来「その他事業」に含めていた一部の事業について、事業化の見込みがたったことにより管理所轄の見直しを行い、報告セグメントの区分を「フィンテック事業」に変更しております。

前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称を記載し、当連結会計年度の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

各セグメントの事業概要は以下のとおりであります。

セグメント区分	事業内容
ブライダルジュエリー事業	ブライダルジュエリーの仕入・製造・販売等
ヘルス&ビューティー事業	エステティックサロンの運営、化粧品及び健康食品等の製造・販売
フィンテック事業	アートフェンドの組成・運営、美術品の販売等
その他事業	ゴルフ用品の製造・販売、関連スポーツ用品の開発

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
 前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	ブライダル ジュエリー 事業	ヘルス&ビ ューティー 事業	フィンテッ ク事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,536,596	2,761,746	1,875,537	411,420	17,585,301	—	17,585,301
セグメント間の内部売 上高又は振替高	1,834	12,036	—	239	14,110	△14,110	—
計	12,538,430	2,773,782	1,875,537	411,659	17,599,411	△14,110	17,585,301
セグメント利益	2,900,425	74,748	57,858	50,356	3,083,388	△556,718	2,526,670
セグメント資産	6,871,100	1,779,902	4,506,592	298,237	13,455,833	1,834,710	15,290,544
その他の項目							
減価償却費	154,534	64,018	3,810	19,347	241,710	4,836	246,547
のれんの償却額	—	21,119	—	7,823	28,943	—	28,943
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	355,782	23,245	—	19,027	398,054	1,554	399,608

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額には、各セグメントに配分していない全社資産1,854,355千円及びセグメント間債権債務消去△19,644千円を含んでおります。
- (3) 減価償却費の調整額は、各セグメントに配分していない全社資産に係る資産の減価償却であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	ブライダル ジュエリー 事業	ヘルス&ビ ューティ ー事業	フィンテッ ク事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,199,407	2,876,895	367,935	176,458	18,620,697	—	18,620,697
セグメント間の内部売 上高又は振替高	2,993	28,253	—	256	31,503	△31,503	—
計	15,202,400	2,905,148	367,935	176,715	18,652,200	△31,503	18,620,697
セグメント利益	4,032,179	134,967	△52,265	△53,477	4,061,403	△730,107	3,331,296
セグメント資産	7,872,382	2,055,760	4,391,669	231,349	14,551,161	2,781,335	17,332,497
その他の項目							
減価償却費	174,434	61,332	3,337	3,475	242,579	4,380	246,959
のれんの償却額	—	21,119	—	7,823	28,943	—	28,943
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	194,785	48,422	422	2,137	245,768	405,128	650,896

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額には、各セグメントに配分していない全社資産2,804,140千円及びセグメント間債権債務消去△22,804千円を含んでおります。
- (3) 減価償却費の調整額は、各セグメントに配分していない全社資産に係る資産の減価償却であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

b. 関連情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	台湾	その他	合計
1,499,585	413,722	603	1,913,911

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報
 前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	ブライダルジュエ リー事業	ヘルス&ビューテ ィー事業	フィンテック事業	その他事業	合 計
減損損失	13,932	12,045	—	252,576	278,554

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	ブライダルジュエ リー事業	ヘルス&ビューテ ィー事業	フィンテック事業	その他事業	合 計
減損損失	329,823	61,531	—	16,299	407,655

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報
 前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	ブライダルジュエ リー事業	ヘルス&ビューテ ィー事業	フィンテック事業	その他事業	合 計
当期償却額	—	21,119	—	7,823	28,943
当期末残高	—	323,827	—	24,123	347,951

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	ブライダルジュエ リー事業	ヘルス&ビューテ ィー事業	フィンテック事業	その他事業	合 計
当期償却額	—	21,119	—	7,823	28,943
当期末残高	—	302,708	—	—	302,708

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報
 前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
 該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
 該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	458円61銭	525円91銭
1株当たり当期純利益	56円23銭	95円88銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、2019年10月1日付で普通株式20株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	916,442	1,529,398
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	916,442	1,529,398
期中平均株式数(千株)	16,297	15,950

(重要な後発事象)

該当事項はありません。